

草加市立歴史民俗資料館

れきみんだより vol.9



豊田三郎文学碑の前で（昭和58年 [1983]）

左から染谷冽氏（文芸評論家）、森村浅香氏、森村桂氏、水上勉氏（作家）です。

企画展「夢は大きく 心はやさしく - 森村桂のメッセージ -」開催中 会期：令和2年11月14日（土）～令和3年1月11日（日）

『天国にいちばん近い島』の作者として知られる作家・森村桂（もりむらかつら1939～2004）は、同じく作家であった父・豊田三郎（とよださぶろう1907～さいたま1959）の故郷が埼玉県南埼玉郡川柳村柿木（現在の草加市柿木町）であったため、草加市とゆかりが深い作家として知られています。

森村桂の魅力の一つは、彼女の旺盛な冒険心と好奇心が生み出すテーマです。当時は珍しかった海外旅行から恋や結婚といった身近な事柄まで、彼女の飾らない正直な言葉で著され、

現在も多くの人に愛され続けています。

森村桂の作品には、父・豊田三郎との思い出がよく登場しますが、草加市との交流も父が結び付けてくれました。市内の文芸家たちが中心となって展開した豊田三郎の顕彰活動の一つである文学碑の建立に森村桂も参加し、その交流は彼女が亡くなるまで続けました。

企画展では、直筆原稿や草加の文芸家たちとの交流を伝える資料などを展示し、森村桂の半生を紹介します。ぜひご来館ください。



解体前の大川弥惣右衛門邸

第一展示室を見学されると、大きなケースに収納された屋敷の模型をご覧いただけますが、これは明治時代に明治天皇が東北・北海道に巡幸された際、草加宿にてご宿泊された行在所の模型になります。

明治政府は、「王政復古」を広く国民に知らしめる必要があると考え、明治5年（1872）から明治18年（1885）にかけて、六度にわたる大規模な地方巡幸を行いました。

そのうち、明治9年（1876）と明治14年（1881）に行われた二度の東北・北海道巡幸において、草加宿は第一目の滞在地に選ばれています。

明治9年の巡幸では、明治天皇は6月2日早朝に赤坂仮御所をご出発。千住宿でご昼食を取られてから、草加宿に入られました。草加宿内は巡幸拝見の人々で未曾有の混乱だったと伝わっています。

明治天皇のご宿所である「行在所」には、慶応初年に建築され、南面向きの家屋であった大川弥惣右衛門宅が選ばれます。行在所に指定され

る栄誉を賜った大川弥惣右衛門は、江戸時代に宿役人を務めた大川家の当主であり、後に草加町長を務めた人物です。行在所として用いるため、邸宅はおよそ250円（現在の貨幣価値でおよそ600万円）かけて修繕が加えられました。

大川邸にご宿泊された翌日、草加宿をお立ちになられた明治天皇は、蒲生村で田植えを天覧された後、東北・北海道を巡られます。青森から明治丸という客船に乗船された明治天皇は函館を経由して横浜に至り、東京に還幸されました。

明治14年の巡幸でも、第一日目の行在所に草加宿の大川邸が用いられ、このときは復路も陸路だったため、二度ご滞在になりました。

その後、大川邸は史蹟名勝天然記念物保存法により、昭和8年（1933）に国指定史跡（聖蹟）に指定されました。大川家の方々によって保存されましたが、平成4年（1992）に解体されています。跡地には、聖蹟指定時に建立された記念碑（レプリカ）が佇んでおり、往時の名残を伝えています。

◆れきみん歳時記（令和2年6月～令和2年9月）◆
歴史民俗資料館で開催した講座やイベントなどの取組を紹介します

6月 れきみん再スタート



3月以来休館しておりましたが、再開することができました。「新しい生活様式」に則した「新しい館内見学」を模索しながら、れきみんも再スタートしました。

8月 街並み緑化に貢献！！



陽当たりの良過ぎるれきみんでは、少しでも涼しくしようとゴーヤの苗を植えてグリーンカーテンを設けています。

小ぶりながらゴーヤも実り、育てる楽しさも体験できました。

7月 ソーシャルディスタンスで体験教室



久しぶりの体験教室は、恒例の「火起こし・せんべい焼き体験」です。参加人数を減らしたり、ソーシャルディスタンスを確保しながら、楽しく開催することが出来ました。

9月 「団地」という文化を考える



どっきょう 獨協大学教授の岡村圭子先生を講師に迎え、企画展講座「団地が育てたもの」を開催しました。「団地」という空間で育まれた独特の文化について、参加者は熱心に先生のお話に耳を傾けていました。

◆企画展の次回予告

タイトル：「桃の節句展」

開催期間：令和3年2月9日（火）～3月7日（日）

これまでご寄贈いただいたひな飾りや市民の方々が制作された可愛らしいつるし飾りを、華やかに展示します。

心が晴れやかになる企画展です。ぜひ、ご覧ください。



展示の様子（令和元年度）

◆団体見学のお申し込みをお待ちしています

歴史民俗資料館では、団体見学のお申し込みをお受けしています。

職員の展示解説や懐かしのSPレコード鑑賞など、お時間に応じた案内プログラムをご用意していますので、ぜひお申し込みください。

お申し込み電話番号 048-922-0402



草加市立歴史民俗資料館
facebook やってます！！



皆さんに草加市の歴史や文化、歴史民俗資料館の活動を伝えたくて公式フェイスブックページを開設しています。
様々な情報を発信していきますので、ぜひご覧ください！

草加市立歴史民俗資料館
市公式ホームページ内のSNSページまたは隣の二次元コードからアクセスすることができます！

草加市立歴史民俗資料館

【開館時間】 午前9時～午後4時30分

【休館日】 月曜日（祝日または振替休日の場合は翌平日）
年末年始

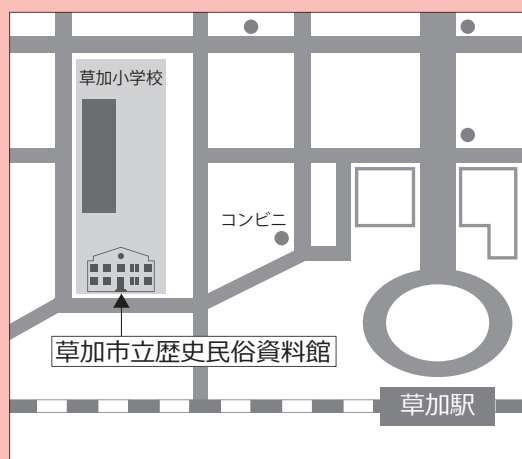
【入館料】 無料

〒340-0014

埼玉県草加市住吉一丁目11番29号

TEL:048-922-0402 FAX:048-922-1117

E-mail:sokarekimin@city.soka.saitama.jp



東武スカイツリーライン「草加駅」東口徒歩7分
駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

れきみんだより vol. 9

発行日：令和2年（2020）12月10日 編集・発行：草加市立歴史民俗資料館